

スポーツ推進だより

令和 5年 3月 No.142



スポーツ推進だより 目次

岡崎スポーツフェスティバル 2022.....	2~5
第 37 回岡崎市学区交歓ソフトミニバレーボール大会.....	6~7
中央第 2 ブロック研修会(体カテスト)	8
西三河地区スポーツ推進委員実技研修会	9
常磐ブロック研修会	10
第 70 回東海四県スポーツ推進委員研究大会.....	11
岡崎市スポーツ推進委員研修会	12

岡崎スポーツフェスティバル2022 Day1

愛宕学区 安井 孝一 連尺学区 鈴木 紀勝

60年以上の長きにわたって岡崎市のスポーツの祭典として開催されてきた岡崎市民体育祭に替わるイベントとして、記念すべき第1回の開催となった「岡崎スポーツフェスティバル2022」取材いたしました。

ここからは、2022年10月8日(土)、第1日目の模様についてレポートしていきます。会場は岡崎中央総合公園で行い、レクリエーションスポーツを含めた全8種目におよそ1,000名を超える参加者が集まりました。本イベントへの参加募集方法は、ホームページからの申し込みという形式だったこともあり、純粋にスポーツを楽しみたいという思いが参加者みなさんから伝わってくる、そんな空気に満ちあふれていました。雨予報で心配された天気も、やはり10月初旬の晴天率の高さに救われた形で、気持ちのいい秋晴れのもとで汗を流すことができましたようです。

DAY1 種目紹介

1. ソフトミニバレーボール

女子の部、混合の部で全6コートに分かれ、白熱した対戦を繰り広げました。強烈なスパイクが炸裂したかと思えば、プロ顔負けのジャンピングレシーブなども見られ、アリーナに歓声がこだましていました。

2. ファミリーバドミントン

小学生2名の入るファミリーの部と、中学生以上の一般の部で分かれて対戦。バドミントンのシャトルの玉の部分がスポンジになって、1チーム3人でプレーするこの競技は、岡崎市で学区交歓の大会も開催されるようになり、盛り上がりを見せています。

3. ボッチャ

パラリンピック競技でご覧になった方も多はず。攻めや守りの戦略、投げる正確さが要求されるチーム競技で、静かなる頭脳戦が展開されました。

Check!

岡崎市スポーツ推進委員連絡協議会では、今後も障がい者スポーツ（パラスポーツ）について、より市民の身近なスポーツになれるよう推進してまいります。



Check!

『誰でも気軽に楽しめるスポーツの祭典』として誕生した岡崎スポーツフェスティバル。記念すべき第1回目は二日間にて開催し、1日目を岡崎中央総合公園、2日目を龍北総合運動場で行いました。



4. モルック

木の棒を投げてピンを倒し、得点を 50 点ちょうどにすると勝利という、北欧発のシンプルなゲーム。全国的ブームと言えるほどの人気を反映してか、28 チームもの参加を得て、笑いあり、歓声ありの和やかなゲームが繰り広げられました。

Check!

モルックは現在とても人気のスポーツです！気になる方は是非、お近くのスポーツ推進委員へお尋ねください。



5. フットベースボール

小学生の部、一般の部が全 4 面の球場で開催。一般の部は、中学生以上の男女でチーム編成され、大人の男性の力いっぱい蹴り上げられた大飛球を背走しながらキャッチするファインプレーも見られました。小学生はチームで揃えたユニフォームに身を包み、普段から積んだ練習の成果を発揮しようと大きな声を掛け合いながらプレーをしていました。



6. タグラグビー

小学校低学年から高学年の初心者および経験者 30 名ほどが参加。指導にあたった岡崎ラグビースクールのコーチ陣は、ラグビーというスポーツの楽しさを感じられることを優先にしたスタイルで、子どもたちは笑顔いっぱいで楯円球と親しむことができました。



7. ぴんしゃんウォーキング

ぴんとした正しい姿勢、しゃんとした身体の軸をつくって歩きましょう、というテーマに老若男女の参加者がチャレンジ。“ただ歩く”というだけのことがこれほど深いのか、と悩みつつもこやかに歩くみなさんはとても楽しそうでした。



8. ボディバランスエクササイズ

「身体のズレやゆがみ、知らず知らずのうちにバランスを崩してしまっていることが、いろんな痛みや不調の原因になっているのです。今日はそれらを伸ばし、ほぐしていくことで正しいポジションに戻していきましょう。」私も実際にお仲間入りして、武道場の畳の上でゆっくりと身体を動かしながら、すっかりリラックスした“いい気分”を味わいました。



岡崎スポーツフェスティバル2022から感じたこと

相手と「競う」こともスポーツの醍醐味ですが、まずは初心に帰って「楽しむ」ことに重点を置いたこのイベントは、市民にとってとても有意義な時間だったのかなと感じます。

コロナ禍でなかなか外に出ることができなかった反動もあり、参加者の皆さんから笑顔があふれていました！



岡崎スポーツフェスティバル2022 Day2

竜谷学区 東浦 至孝 大会運営事務局

1 日目が無事成功に終わり、興奮冷めやらぬ中、舞台は龍北総合運動場に移り、岡崎スポーツフェスティバル 2022 の 2 日目が開催されました。2 日目は、トップレベルのアスリートによるスポーツ教室や体を動かすきっかけづくりとなる体験会を行うなど、1 日目とは提供するスポーツのジャンルが違い、会場内も終始盛り上がっていました。

DAY2 種目紹介

【午前の部】

1. GOODモーニングヨガ

陸上競技場内の芝生の上で、朝の澄んだ空気と自然を感じながら、非日常が味わえる空間となっていました。

Point!

講師は実際にヨガを教えている先生。プロから教わることもなかなかないので、またの開催をお楽しみに！

2. ソフトテニス体験会

初心者の方でも大歓迎の体験会で、これから部活を選択していくお子さんたちの参加がありました。

Point!

ラケットを持っていない方も参加できたこの体験会は、これから部活動を定める学生にとっても良い体験になったかと思います！

3. エアロビクス&ヨガ体験会

普段生徒さんにエアロビクスやヨガを教えている教室の先生から直々に教わることのできる時間。この体験会をきっかけにエアロビクスやヨガにハマった人も少なくないはず！

4. スポーツ鬼ごっこ

まだまだ聞き馴染みのない種目。ですが、なんと実はこの日一番の盛り上がりを見せていたのがこのスポーツ鬼ごっこ。現代の子供たちに「チームワーク」「競争心」「コミュニケーション」を学んでもらおうと思案したこの種目が世の中に浸透するのもしよう遠くはないはず。

5. 「FCマルヤス岡崎」サッカー教室

岡崎市を代表するマルヤスの選手たちからサッカーの基礎を学べる機会は、多くの子供たちにとってかけがえのない財産になったかと思います。



6. 「三菱自動車岡崎硬式野球部」野球教室

プロ野球選手も輩出する三菱自動車岡崎硬式野球部から野球を学べるチャンス。初心者～経験者まで、それぞれに合った形で野球の楽しさを学べる、時間があつという間の野球教室でした。



【午前の部】

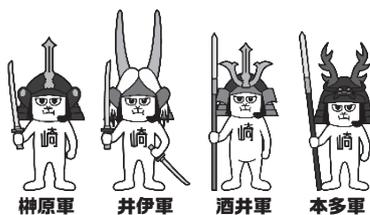
目玉イベント 岡崎龍北大合戦 ～徳川四天王集結～

仲間とチームを組んで、楽しく身体を動かすことのできる「レクリエーション運動会」。参加 28 チーム 140 名の小学生から最高齢 60 歳以上の猛者たちが集結し、前後半合計 6 種目のレクレーション種目を楽しみながら、競い合いました。参加はフリーエントリーで家族や学校の友人同士での参加チームが大半でした。また、岡崎アスリートでもある三菱自動車岡崎チームやFCマルヤス岡崎のみなさんもチームでエントリーしていました。



ざっくりこの運動会の概要をお伝えすると ...

- 参加チームを事前に 4 つの軍に分け、前半 4 種目をその分かれた軍で健康診断のように種目を回っていく。
- 後半 2 種目は最初に分かれた軍での軍対抗戦。それぞれの軍の大將は葵武將隊の「本多忠勝」・「酒井忠次」・「榊原康政」・「井伊直政」の 4 將が務めていました。
- 前半種目と後半種目を通して、獲得ポイント数の多い参加チームにはプレゼントが！



このような流れになります。

残念ながら荒天の中ではありませんでしたが、玉入れや障害物リレーなどレクリエーション種目を参加者のみなさんが楽しんでいる様子がうかがえました。そしてスタンドからも随時熱い応援が送られていました。

岡崎スポーツフェスティバル2022ギャラリー



レクリエーション運動会には推進委員役員チームも参加!



レクリエーション運動会前のラジオ体操の様子



レクリエーション運動会は殿(徳川家康)が司会進行役でした!



三菱さんが参加者と会話している様子(捕球態勢の指導中?)



「誰にでも楽しめる種目を」運動会の種目はなんと全て岡崎市が考案!

第37回 岡崎市学区交歓

ソフトミニバレーボール大会

令和4年 12月 4日(日) 岡崎中央総合公園体育館

三島学区 大竹 巨秀

六ツ美中部学区 野村 啓一

令和4年12月4日(日)に岡崎市中央総合公園の総合体育館にて『第37回岡崎市学区交歓ソフトミニバレーボール大会』が開催されました。

ソフトミニバレーボールは老若男女が楽しめるルールを現在も追求し続けている岡崎市発祥のスポーツです。今回は総勢50チーム(女性の部27チーム、男女混成の部23チーム)で、リーダー的な存在の選手が引っ張るチーム、全員がムードメーカーの様なチーム、絶対的な信頼のエースアタッカーを中心としたチームなど様々な特長を有したチームがご参加されていました。会場には選手以外にも地域の方々、ご家族、ご友人など多くの方にお越し頂き大変盛大な大会を開催出来た事に深く感謝致します。

さていよいよ午前9時30分にコート12面で一齐に試合開始!参加チームの実力は拮抗しており長いラリーの決着は相手チームの連携ミスやボールの打ち損じなどで得点が入ります。各コートで熱戦、ファインプレーや惜しいプレー、たまに珍プレーが繰り広げられ、控え選手から「イエーイ!いいよ、いいよ!いける、いける!」観覧スタンドからは「パパ、ママ、おじいちゃん、おばあちゃん、お兄ちゃん、お姉ちゃんガンバレー!ナイスプレー!」など、チームを鼓舞する声が途切れることなく飛び交いました。

選手の控え場所の観戦スタンドでは試合を終えた選手を労いながら、試合を振り返り笑い合うシーンやお互いの健闘を称え合うシーン、経験者が次の試合に向けて戦術を授けるシーンなど、円滑な地域コミュニティの形成が想像できる場面に遭遇出来ました。これは、スポーツ推進委員になって良かったと感じる瞬間の1つです。

白熱の今大会を制覇した優勝チームは、女性の部:『広幡学区A』、混合の部:『梅園学区』です。本当におめでとうございます!

今大会で、優勝したチームは連覇、惜しくも敗退したチームはリベンジ、新たに参加のチームは各々の目的を目指して、来年度も今大会以上の盛大な学区交歓大会が開催出来ます様に、皆さんご協力のほどよろしくお願いいたします。



女性の部 優勝 広幡Aチーム



混合の部 優勝 梅園チーム

中央第2ブロック研修会

愛宕学区 安井 孝一

10月16日（日）、前週のスポーツフェスティバルの余韻も冷めやらぬタイミングで、今度は中央第二ブロックの研修会が、秋晴れの下、連尺学区の城北中学校にて開催されました。今回は、国が統計調査として、毎年行っている「体力テスト」を当研修会にて実施することとなりました。

今回のレポートは、各種目の写真を撮ったり、参加者に感想を聞いたりするのではなく、自分自身が被験者となって、この体力テストに挑戦するのが一番わかりやすく、実感を伴った『体当たりレポート』になるだろうと考え、50代の中年男性もここまでやれるぞというところを見せようと奮闘してまいりました。

各種目は計測結果により10段階で採点され、1点から10点の得点が付きます。6種目の合計得点により、年齢階層別の評価判定がAからEまでの5段階で分けられるのと、実年齢とは別に体力年齢が参考としてわかるようになっています。

1. 反復横跳び

20秒間でいかに早く左右のラインをまたぎ往復できるか、素早い足運びが要求されます。

2. 立ち幅跳び

両足踏み切りでどれだけ跳べるかを計測します。男性は2mを超えてようやく中位の5点、満点は260cm以上です。

3. 10m障害物歩行（65歳以上種目）

図のような障害物を乗り越えながら歩行し、ゴールするまでの時間を計測します。走ってははいけません。男性で4.4秒、女性で5秒を切れば満点です。

4. 開眼片足立ち（65歳以上種目）

両手は腰に、自分の好きな方の足を床から5cm程度上げ、目を開けた状態で何秒続けられるかというもの。120秒で満点。

5. 長座体前屈

膝を伸ばして壁に背を付けて座り、手で台を前方へ押し、台の動いた距離を計測します。60cmを超えないと満点にはなりません。柔軟性は加齢とともに失われると言われていますが、お風呂上がりでのストレッチが有効です。

6. 握力

握力計で左右を交互に2回ずつ計測し、左右それぞれの良い記録を平均したもので得点判定します。

7. 上体起こし

いわゆる腹筋。30秒間で何回できるか、男性33回、女性25回以上で満点です。いかがですか？できますか？

8. 6分間歩行（65歳以上種目）

6分間で歩行できた距離を計測します。1分ごとに経過時間を知らせてもらいますが、みなさんは、6分は長く感じられますか？それともあっという間でしょうか？

9. 20mシャトルラン

最後の種目は20mの距離を往復するシャトルラン。CD音源から鳴る電子音の合図でちょうど折り返すように走ります。電子音は徐々に早くなっていき、そのタイミングに間に合わなくなったら終了。

各種目では、スポーツ推進委員の研修部担当が、計測法の説明や記録、そして応援の声かけをしていただきました。その声かけは、「無理をしないでいいですからね」というもの。それは、無茶をして肉離れを起こしたり、転倒して頭を打ったり、果ては心臓、脳血管系にトラブルを起こしたりしたら大変なことになってしまいますから。でも、やってる人たちは、自分の記録ですから、無理すると言われても頑張ってしまうものです。幸いにも大きなトラブルなくみなさん無事に計測は終わられたようで、ひと安心。最後に各種目の得点を合計し、自身の判定を見ながら、みなさん一喜一憂。今日のテストは、ご自身の運動習慣を見直すよいきっかけになったことでしょう。



岡崎市の総合評価別人数表
(体力テスト受講者のみ)

A評価	B評価	C評価	D評価	E評価
9人	23人	14人	11人	5人

10/16に調査した全62名の総合評価別人数表になります。受講者の皆様、ご協力ありがとうございました。

令和4年度

羽根学区 加納 しのぶ 秦梨学区 天野 博之

西三河地区スポーツ推進委員実技研修会に参加して

高浜市スポーツ推進委員のご協力のもと、10月29日（土）に地域交流施設たかぴあ及び周辺施設にて、西三河地区スポーツ推進委員実技研修会が開催されました。

今年も新型コロナウイルス感染拡大防止のため一部簡略化した開催となりましたが、岡崎市の27名含め西三河地区のスポーツ推進委員約110名が参加し、①太極拳、②スナッグゴルフ、③ボートの3種目を実技体験しました。

また、西三河地区推進委員5年・15年表彰も併せて行われ、岡崎市からは山本幸正（井田学区）さんが15年表彰、22名が5年表彰を受賞されました。おめでとうございます！

それでは、実技体験の様子や感想をそれぞれの種目に参加した方々から皆様にお伝えしていきます！

■ 太極拳を体験して

羽根学区 加納

太極拳を初めて体験しました。和やかな雰囲気でもとても親切に基本（手型・歩型）を教えてくださいました。体重移動が難しいですが流れるような動きで出来るようになれば、転倒防止・免疫改善等の健康効果があるそうです。機会があれば是非体験してみてください。



■ ボートを体験して

秦梨学区 天野

自分にとって初めてのボート体験でした。ナックルフォアというボートのストロークという重要なポジションを体験してきました。「コックス」のかけ声に合わせて自分含めた4名で力まずに漕ぎ出すことができました。腕の力より脚の力で漕ぐことがなかなか上手くできずにてこずりましたが、30分も漕いでいるうちに4人の呼吸もあってきて、スムーズにボートが進むようになりました。



ゴールに着き、ボートから降りる時には、足腰がふらつきボートから滑り落ちそうになり、まだまだトレーニングが足りないなと感じました。初めての方でも親しみやすい、楽しいスポーツでした。高浜市スポーツ推進委員の皆様、ご指導ありがとうございました。

■ スナッグゴルフを見学して

事務局 林

一言でいうと夢中になれる種目でした。ゴルフ経験者から未経験者まで、人を選ばず楽しめるこの種目は多くの皆さんに体験していただきたいなと見て感じました。一見簡単そうに見えるこの種目も、ボールを的に「くっつける」必要があるのも、ほんのちょっとの力加減が鍵となってくる、非常に繊細なスポーツです。現在、岡崎市ではスナッグゴルフの器具貸し出しは行っておりませんが、「こんなニュースポーツもあるんだな」と知っておいていただくと幸いです。



■ 最後に

私はスポーツ推進委員1年目で西三河地区スポーツ推進委員実技研修会に参加させて頂きました。岡崎市以外のスポーツ推進委員の方々と交流する機会がなかったので、とても良い体験及び勉強になりました。



常磐ブロック研修会

常磐東学区 伊藤 大輔

当日は天候もギリギリ持ってくれて参加者の皆様に3競技を楽しんでいただけました。準備にあたってくれた研修部の方々ありがとうございました。

準備運動のモーニングストレッチ！まだ起きていない身体を起こし、筋をのばし、怪我の予防にききます。毎朝行えたら爽やかに1日を迎えられそうです。是非各家庭で始めてほしいと思いました。

さて競技の方ですが、モルック、ペタンク、ファミリーバドミントンの3競技を3チームに分かれて研修部会の方々の丁寧に説明いただき体験させていただきました。馴染みのまだ薄い競技もあるなか皆さん和気藹々とルールを覚え、楽しんで競技に励んでいるようでした。

まず、モルックですが、年齢を問わず小さな子供からお年寄りまでだれもが少人数から楽しめる競技です。広い場所も必要としないのでさほど場所を選ばずに大会も開催できます。ルールもシンプルで、「木製の棒を投げ、高得点を獲得」これだけです。子供達も夢中になっている様子もうかがえ、さすが人気種目だと感じました。

ペタンクもまた場所を選ばない気軽に遊べる競技です。わかりやすく言うと「カーリング」のような競技になります。対戦チームの鉄球よりも“ビュット”と呼ばれる球の近くに自チームの鉄球を寄せ、高得点を狙っていきます。歓声と驚愕、悲鳴の音が響いていて、白熱の攻防が繰り広げられていました。

ファミリーバドミントンは、バドミントンをより身近にした競技です。3人对3人で行うチームスポーツになります。丁度良いスピード感で良い運動になります。ファミリーで参加してくれた方々もいたので、まさに“ファミリーバドミントン”でした！

3つの競技全て、ルールは決して難しくありません。誰もが笑顔で楽しめるニュースポーツとして、大変お勧めです。新型コロナウイルス感染症の予防の観点から、なかなかスポーツを楽しむ機会が減っていましたが、こういった研修会をきっかけに、岡崎市民のスポーツ意欲が更に盛り上がっていくことを願います。

最後になりますが、場所を提供してくれた常磐東小学校、ご指導いただいた岡崎市スポーツ推進委員の皆様にも常磐ブロックの一市民として感謝の意を伝えたいと思います。有意義なお時間をありがとうございました。



－ 常磐東小から見る景色 －



－ モーニングストレッチの様子 －



－ モルックの様子 －



－ ペタンクの様子 －



－ ファミリーバドミントンの様子 －

第70回 東海四県スポーツ推進委員研究大会

六ツ美北部学区 時原 あすか

令和5年2月3日（金）に第70回東海四県スポーツ推進委員研究大会愛知大会が、岡崎市中央総合公園武道館を会場に、静岡・愛知・岐阜・三重の各県より総勢1,698人のスポーツ推進委員が一堂に会して行われました。会場は熱気に満ち溢れ、我が岡崎市からも杉山会長をはじめ31名が参加しました。地域における生涯スポーツ推進の実践活動について、研究を発表し、スポーツ推進委員としての資質の向上を図り、参加者が相互に意見交換を行う場として毎年開催していた本大会ですが、昨今のコロナ禍によりここ数年開催ができておりませんでした。この第70回大会が久しぶりの対面開催となりました。

～大会の様子～

開会式に続き、東海四県功労者表彰、20年表彰、団体表彰、中ブロック表彰があり、岡崎市からは東海四県功労者表彰で石川貴洋さん（矢作北学区）、中山許さん（城南学区 写真右）が表彰されました。続いてアトラクションとして光ヶ丘女子高等学校のダンス部によるダンスを鑑賞しました。光ヶ丘女子高等学校のダンス部は全国的にも大変有名で数々の大会で上位入賞を果たされています。様々なジャンルの息の合った優美なダンスはとても素晴らしかったです。

次にプロフィギュアスケーターの鈴木明子さんをお招きし「新しい自分と生きる」～ひとつひとつ、少しずつ、夢への道のり～と題して講演会が行われました。ご自身の嬉しかったり辛かったりした経験を踏まえ、好きなことをコツコツとやっていくことの重要性を時にはユーモアな時間を交えて講演され、とても参考になる貴重なお話を聞くことができました。

次に事例報告として、大口町の「世代を超えたスポーツのまちづくり」～知る、観る、そしてプレイ「ラグビー」～、豊明市の「気軽に楽しめるスポーツ環境を目指して」～コロナ禍でもスポーツ推進活動の在り方～、刈谷市の「一市民スポーツ」～ニュースポーツ普及への取組み～といった、3市町のスポーツ推進委員による研究発表がありました。

大口町は壇上で実践を踏まえてラグビーの説明をされ、高齢者も含めた全世代が気軽に参加できるようにと努力されていることが素晴らしいと感じました。「まずは、スポーツを観に来ることからが参加への第一歩である」との言葉が印象的でした。豊明市はノルディックウォーキングに力を入れており、ゴミ拾いと合わせた“プロキング”を市内の魅力ある景観を取り入れたコースを作り、参加者が飽きないようにと企画されていることが印象に残りました。

刈谷市は研究部・事業部・推進部・広報部と別れている部署がそれぞれ個々に強みを生かして活動をされているながらも、連携がしっかり取れており、多様な活動をされているなと感じました。

私は、研究大会への参加は今回が初めてで、このような会があることも知りませんでした。普段あまり深く考えずに、スポーツ推進委員の活動に参加していましたが、皆様の活動の奥深さと熱心さにとっても感銘を受けることができました。ここ数年コロナ禍で、地域のスポーツ活動が思うようにできない時期があり、今後もいろいろと困難な状況が考えられます。だからこそ、高齢化社会・地域のつながり等の問題を少しでも解決できるような活動をしていくことが重要であると考えます。



石川 貴洋さん(左)、中山 許さん(右)



令和4年度 岡崎市スポーツ推進委員研修会

連尺学区 鈴木 克典

新型コロナウイルスの影響もひとまず落ち着いた状況になり、普段はスポーツの案内や紹介、学区での大会運営をおこなっているなど、スポーツを通じて健康増進や地域住民との交流の機会を図っている岡崎市スポーツ推進委員が、今日は経験や体験をする側になって研修会受講をおこないました。

この日は、大ベテランの推進委員から経験短い推進委員の方などが多く参加いたしました。私自身は推進委員を10年弱務めてまいりましたが、コロナ禍で活動が抑制され残念な思いをしていましたので、今日の研修会の開催は役員方々や市職員方々の努力のおかげで参加できたことに感謝しています。

この数年に推進委員になられた方は写真でしかわからない方もあった状況ですが、今日一日でコミュニケーションをおこなうことができました。久しぶりに運動することとなった人も多く自分の体と相談しルールも確認しながらプレーヤーとして過ごすことができ、また、参加者側の感覚も理解でき、今後の活動にいかしていきたいと思いました。

さて、今日の研修内容ですが最初はチーム編成してのソフトミニバレーボール。「今日は軽く運動するかな」「ケガしないように適度に…」など皆さん思われたかと存じますが、競技になるや否や勝負に徹する方も多く、熱い思いや機動的に動く様子がうかがえました。皆さんウズウズしていたんだなと感じました。私自身もリフレッシュでき爽やかな汗をかくことができました！

真剣に競技を進めていたことでラリーも続き、当初スケジュールしていたファミリーバドミントンは時間切れで活動できませんでしたが、今日の参加動機の目標は十分達成できました。

閉講時に多くの方の勤続表彰もおこなわれました。皆さんこれからもよろしくお願ひしたいと思慮致します。私は今日の活動を通じて「やはりスポーツは素晴らしいな」と感じましたが参加者皆さんも同じく共有されたかと思ひます。私はこういった活動を通じていろいろな人と知り合うことができている。お金では買えないプライスレスな存在で私の財産でもあります。これからもこういった活動で私自身の財産の蓄積や地域の財産、岡崎市の財産となるよう活動していく方針です。

新年度からはコロナなどストレスなく活動できることを祈念して今年度の活動を修めます。



発行 ● 岡崎市スポーツ推進委員連絡協議会
編集 ● 岡崎市スポーツ推進委員連絡協議会広報・事業部
事務局 ● 岡崎市社会文化部スポーツ振興課 (TEL23-6363)
ホームページ ● <http://www.city.okazaki.lg.jp/1550/1556/281500/p021076.html>

